

## 香川県教育委員会1月定例会会議録

1. 開催日時 令和5年1月16日(月)  
開 会 午前10時00分  
閉 会 午前11時05分

2. 開催場所 教育委員室

3. 教育委員会出席者の氏名

|       |           |
|-------|-----------|
| 教 育 長 | 工 代 祐 司   |
| 委 員   | 小 坂 真 智 子 |
| 委 員   | 平 野 美 紀   |
| 委 員   | 藤 澤 茜     |
| 委 員   | 木 下 敬 三   |
| 委 員   | 蓮 井 明 博   |

4. 教育長及び委員以外の出席者

|                      |           |
|----------------------|-----------|
| 副教育長(兼)新県立体育館整備推進総室長 | 近 藤 誓 吾   |
| 教育次長(兼)政策調整監         | 海 津 洋     |
| 教育次長                 | 金 子 達 雄   |
| 総務課長                 | 藪 木 泰 伸   |
| 義務教育課長               | 三 好 健 浩   |
| 高校教育課長               | 吉 田 智     |
| 保健体育課長               | 宮 滝 寛 己   |
| 生涯学習・文化財課長           | 荻 原 絢 嗣   |
| 教育センター所長             | 藪 内 康 則   |
| 政策主幹(兼)総務課副課長        | 佐々木 隆 司   |
| 総務課長補佐               | 市 原 登 紀 子 |
| 義務教育課長補佐兼主任指導主事      | 中 田 祐 二   |
| 高校教育課長補佐兼主任管理主事      | 長 林 真 司   |
| 高校教育課長補佐兼主任指導主事      | 渡 邊 謙     |
| 保健体育課長補佐兼主任体育主事      | 荒 井 憲 司   |
| 教育センター教職員研修課長        | 井 上 貞 人   |
| 義務教育課主任管理主事          | 仲 西 長 代   |
| 義務教育課主任指導主事          | 橘 慎 二 郎   |
| 特別支援教育課主任指導主事        | 鳥 井 口 隆   |
| 高校教育課主任              | 高 森 俊 介   |

傍聴人 2名

## 5. 会議録の承認

12月21日に開催した定例会の会議録署名委員の蓮井委員から、同定例会の会議録について適正に記載されている旨報告。

各委員に諮り、これを承認した。

## 6. 非公開案件の決定

教育長から、本日の議題のうち、その他事項3は、教育委員会において会議を公開しないことと定めているもののうち、「県の機関が行う事務に関する情報であって、公にすることにより当該事務の性質上、当該事務の適正な遂行に支障を及ぼすおそれがあるもの」に該当するため、非公開としたい旨を発議。

各委員に諮り、非公開とすることに決した。

## 7. 議案

○議案第1号 香川県教員等人材育成方針の改正について

総務課長及び教育センター所長から、香川県教員等人材育成方針の改正について諮る旨、説明。

### 【質疑】

<平野委員>採用からの年数によりキャリアステージが区分されているが、様々な職種から教員になる道を開こうとしている中で、年数で区分することがどうなのかとも思う。想定されているのが、大学新卒で教員に採用された方のキャリアプランであるように感じるが、どのように考えているのか。

<教育センター担当>協議会においても同様の意見があった。教育センターの基本研修は、1年目は初任者研修、7年目は中堅教諭等資質向上研修というように、研修体系が経験年数で区切られていることにあわせている。人材育成方針（案）の「3（3）キャリアステージについて」にも記載のとおり、あくまで「目安となる経験年数」であり、各個人が観点毎に細かな目標を設定していくことになると思うが、教員がそれぞれの項目について適切なキャリアステージのものを選んで具体的な目標を設定したりすることも示している。

<平野委員>この方針は、誰に見てもらうことを想定しているのか。

<教育センター担当>教員等である。

<蓮井委員>最終的には自己評価に結びつくシステムに組み込まれることになるのか。今、大学の教員も含め、人事評価システムについての見直しが大々的に行われようとしている中、学校の教員に対しても指標を提示した上でこれを自己評価し、それを上司など第三者から客観的評価を受ける方向が出ているのか。

＜教育センター担当＞令和6年度に文部科学省が研修履歴管理システムを稼働する予定となっており、そのシステム構築の過程で、履歴を基に自己評価ができるよう要望もしているところである。管理職が研修受講奨励を行う際には、自己評価や指標を意識して指導を行うことになる。

＜蓮井委員＞そのような意味でも、人材育成方針の具体的な指標は非常に大事なポイントになると考える。

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

○議案第2号 令和6年度香川県公立学校教員採用選考試験大綱について

高校教育課長から、令和6年度香川県公立学校教員採用選考試験大綱について諮る旨、説明。

【質疑】

＜教育長＞大学等からの推薦枠を新たに設けることとなり、これまでの採用実績で多くの方が教員になっている大学に対しては複数名の枠を設けるとなっているが、その人数はいつ決定するのか。

＜義務教育課長＞来年度4月1日に採用された者の出身大学等を考慮して人数を決めていきたいと考えているため、4月以降の早い時期にはと考えている。

＜教育長＞その人数は、令和5年5月上旬公表予定の「令和6年度香川県公立学校教員採用選考試験大学等推薦特別選考実施要項」に記載されるのか。

＜義務教育課長＞実施要項には記載しない。

＜木下委員＞香川県公立学校教員採用選考試験大綱「5 加点申請制度」で、いくつかの加点要件が示されているが、この加点制度はどの程度重要となってくるのか、加点されることでかなり有利となるのか。

＜義務教育課長＞中学校の種別であれば、「美術」「技術」「家庭」の2教科2分野の教科においては、総合点に加点されるため、かなり有利になると考えている。

＜木下委員＞最近、新聞紙上では教員の志願者が減少し、資質の低下が見られるなどの報道がなされているが、教育委員会から見て、教員の資質は5年前、10年前に比べて差異はあるのか。

＜義務教育課長＞教員養成大学・学部に進学しているが他の職業を選んでしまう者に対し、教員になることを目指してもらうため大学等推薦特別選考を新設するとともに、講師の確保が困難となっている状況も踏まえ、講師をしている方に対し一定のインセンティブを与えるため、1次試験免除となる特別選考を設けることとした。教職員に求められる資質が、先ほどの人材育成方針にあったように「特別な支援を要する子どもたちへの対応」や「ICTへの対応」など変化している状況であるため、そのような様々なニーズに応えられるような人材育成は、採用

や養成などいろいろな面から行っていきたいと考えている。

＜高校教育課長＞自分たちの大学生時代に比べ、教員として求められる資質や大学時代に行くべき事柄が増えていると感じている。勉強やボランティア活動、福祉施設等での活動など大学4年間にしなければならないことが詰め込まれているように思う。教員に求められる資質能力も変わってきており、どんどんと加算されてきていると感じる。

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

## 8. その他事項

○その他事項1 令和5年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領について  
義務教育課長から、令和5年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領について説明。

### 【質疑・意見交換】

＜教育長＞中学校英語「話すことに関する調査」は4月18日から5月26日の間で実施とされているが、問題が異なっているのか。

＜義務教育課長＞この調査は、同じ問題を「当日実施校」と「期間内実施校」に分けて実施し、本県の場合は3校が当日実施校となっている。文部科学省においては、本県の3校も含めた全国500校程度を当日実施校として、その結果を全国値として公表する予定としている。それ以外の期間内実施校については、参考値として各教育委員会や学校及び生徒で結果を共有することとなっている。

○その他事項2 令和5年3月香川県公立高等学校卒業予定者の就職内定状況について

高校教育課長から、令和5年3月の香川県公立高等学校及び県立特別支援学校の卒業予定者の就職内定状況について説明。

### 【質疑・意見交換】

＜教育長＞資料の4「県内公立高校の課程別・学科別の就職内定率」の内定者の割合では、県外の内定率が前年度に比して高くなっている。

＜高校教育課長＞10月末の内定者の割合から、県外の内定率が高くなっている。詳細は各学校に確認しなければならない。

＜教育長＞この県外への内定者の割合は、毎年、若干増加傾向にある。どのようなところに就職しているのかなどについて分析し、高校生が県外に就職する理由を県内の企業の方に情報提供することにより県内への就職率の増加にもつながっていくと考える。経済同友会と協定を締結したり、中小企業家同友会と活動をして

いる中で、県外企業へ行く高校生の就職する分野などについて、状況を把握することは必要であると考え。

<平野委員> 県外に進学した学生が県に戻ってくることも考えられるため、必然的に増えてくることも考えられる。

<蓮井委員> それに関連して参考情報として、本年2月に、大学・地域共創プラットフォームで、県と協力して大学4年生に対し、就職に関するアンケート調査を実施しようとしている。その際には、出身地、就職内定先、動機などを調査する予定となっている。

○その他事項3 第75回香川丸亀国際ハーフマラソン大会について（非公開案件）

○その他事項4 特別国民体育大会冬季大会について

保健体育課長から、特別国民体育大会冬季大会及び香川県選手団について説明。

**【質疑・意見交換】**

<教育長> 有望種目として、アイスホッケー競技成年男子が、「アイスフェローズ中心のチームとして念願の初優勝を目指す」とあるが、調子がいいということか。

<保健体育課長> 先日、香川アイスフェローズは、Jアイス・ウェストで大阪選抜に敗れてしまったが、そのことを反省材料としながら上位を目指したいと考えている。